



(写真) Truth Social@トランプ大統領 “トランプ大統領 Tren de Aragua の麻薬密輸船の爆撃を発表”

2025年9月1日（月曜）

政治

「[1200のミサイルがベネズエラに照準](#)
～現在、米国政府との交渉は台無しに～」

「[野党 VV 党員1名、PJ 党員4名の拘束を訴え](#)」

経済

「[企業間でもデジタル通貨 USDT の使用が拡大](#)
～中銀 民間企業への USDT 売却を検討～」

「[EU 企業に制裁ライセンスなしでの取引を要請](#)」

「[SENIAT 1～8月の徴税額は40億ドル超](#)」

社会

「[グアイド元暫定大統領 US Open 観戦で炎上](#)」

2025年9月2日（火曜）

政治

「[米軍 ベネズエラ発の麻薬輸送船を爆撃](#)
～麻薬密輸船の爆破動画を公開～」

「[マドゥロ政権 公開動画はAIによる偽物](#)
～トランプ大統領 国務長官に騙されている～」

「[ドミ共 太陽カルテルを国際テロ組織に指定](#)」

「[ガイアナ大統領選 Irfaan Ali 大統領が再選か](#)」

経済

「[JAC Motors 中国からの直接輸入オプション](#)」

「[外国資本 Araya 塩田に3000万ドル投資](#)」

「[ラグアイラ州 小麦粉工場の投資を計画](#)」

2025年9月1日（月曜）

政治

「1200のミサイルがベネズエラに照準
～現在、米国政府との交渉は台無しに～」

トランプ政権は、カリブ海で麻薬取り締まりオペレーションを行っている。

特にベネズエラが麻薬の主要な流入ルートとの認識から、軍艦8隻と原子力潜水艦1隻を使用し、ベネズエラ近海で麻薬の密輸取り締まりを行っている。

この状況を受けて、マドゥロ大統領は「麻薬取り締まりのために原子力潜水艦を使用することなどあり得るはずがない」「そのような説明を信じる人がいるだろうか？」「我々の大陸がこの100年間、経験したことのないような巨大な脅威にさらされている」「8隻の軍艦と1隻の潜水艦が1200発のミサイルをベネズエラに向けている」「米国による脅迫行為は、荒唐無稽で、正当化できず、非道徳的で、完全な犯罪行為である」と主張。

「ベネズエラは平和主義の国だが、脅迫や脅しには決して屈しない」「もし攻撃をするようであれば、我々は武器を取る」と対立姿勢を示した。

また、マドゥロ大統領は、トランプ政権が主張する「ニコラス・マドゥロは太陽カルテルのトップ」との主張について言及。

「私は祖国の防衛に徹しているだけで、犯罪グループを組織したことはない」「もしマフィアやマフィアのトップを探しているのであれば、別の場所を探せ」

「ここにそのような人物は存在しない」と反論した。

他、9月2日から米国のルビオ国務長官がメキシコ・エクアドルを訪問する件について言及。

「エクアドルは、コロンビアで生産されたコカインの60%を米国に送っている」「彼（ルビオ国務長官）は、ダニエル・ノボア大統領がアルバニアのマフィア組織と結託していることを理解しなければならない」「エクアドルの大統領一家が経営する会社が米国とヨーロッパに麻薬を送っている」と訴えた。

また、マドゥロ大統領は、米国との交渉について言及。

マドゥロ大統領によると、トランプ政権とは2つのルートから交渉を行っているという。

1つ目のルートは、John McNamara というコロンビアにいる人物を経由した交渉ルート。

2つ目のルートは、Richard Grenell 特使（米国ホワイトハウスのベネズエラ交渉担当）を経由した交渉ルート。

これらのルートは現在、悪意のあるグループにより台無しにされているが、引き続き米国からのベネズエラ移民の受け入れは継続していると説明した。

他、マドゥロ大統領は、マルコ・ルビオ国務長官について「el señor de la guerra（ミスター・戦争）」と批判する一方で、トランプ大統領に対しては

「彼（ルビオ国務長官）は、トランプ大統領の手をベネズエラ人の血で染めようとしている」

「私はトランプ大統領に対して悪意は持っていない」

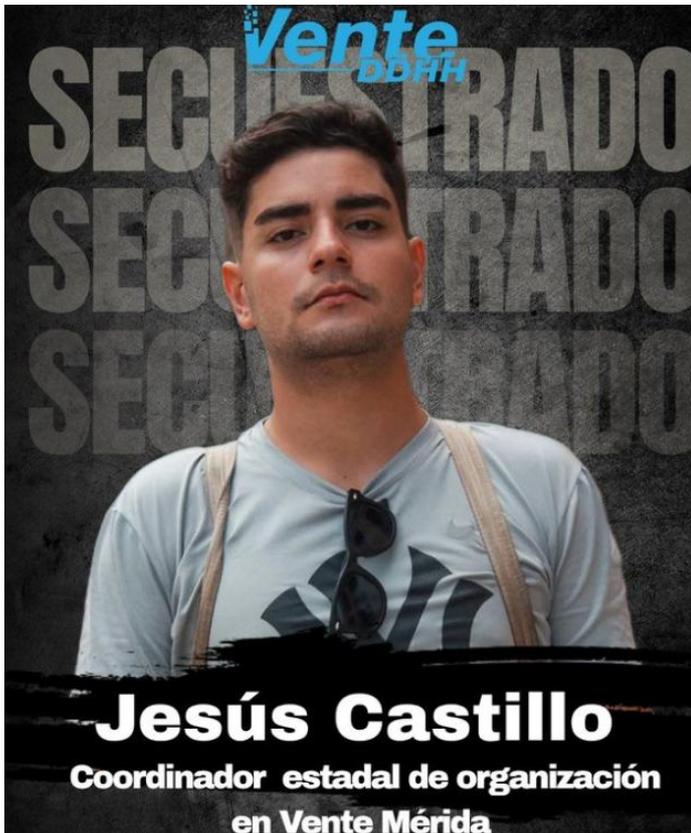
「我々は見解が大きく異なっているが、世界平和を望んでいる点で意見は一致している」

「もし彼が世界平和を求めるのであれば、ベネズエラが唯一の同盟国だ」とラブコールを送った。

「野党 VV 党員 1 名、PJ 党員 4 名の拘束を訴え」

9月1日 マリア・コリナ・マチャド氏（MCM）が代表を務めている政党「Vente Venezuela（VV）」は、党員が武装集団に拘束されたと訴えた。

VVによると、拘束されたのはメリダ州のVVコーディネーターを務めていた Jesús Castillo 氏。あくまで「武装集団に拘束された」と訴えており、マドゥロ政権が拘束したかどうかは不明。



（写真）VV

他、非政府系団体「政治犯自由委員会」は、バリナス州バリナス市の市長を務めたことのある「第一正義党（PJ）」の政治家 José Luis Machín Machín およびバリバス州のPJ党員3名が拘束されたと訴えた。

「政治犯自由委員会」によると、4名は Nutrias 市を移動していた際に治安当局に止められ、拘束されたという。現時点で拘束された理由は分かっていない。

経 済**「企業間でもデジタル通貨 USDT の使用が拡大
～中銀 民間企業への USDT 売却を検討～」**

ここ最近、ベネズエラでデジタル通貨の使用が拡大している。

デジタル通貨分析会社「Chainalysis」によると、ベネズエラ国内でのデジタル通貨の使用額は2025年6月時点で前年同期比110%増。

現在は、世界で13番目にデジタル通貨が普及している国になっているという。

ベネズエラは2023年～24年前期にかけて、インフレが落ち着いたが、24年後期から外貨不足を背景にインフレが加速。

ドルの価値に連動したデジタル通貨「USDT」の使用が拡大しているという。

デジタル通貨プラットフォーム「Criptoneros」の Alexis Lugo 社長は、企業間でも USDT 建ての決済が増えていると指摘。

USDT 建ての取引について「為替レートの変動リスクを抑えて安全かつ迅速に取引することが出来る」とのメリットを強調した。

経済系メディア「Bitacora Economica」は、このような状況を受けて、ベネズエラ中央銀行が USDT の売却を前向きに検討していると報じた。

「Bitacora Economica」によると、ベネズエラ中央銀行はデジタルプラットフォーム「Crixto」を介して、民間セクターへの USDT 売却を検討しているという。

なお、PDVSA は中国の取引先から USDT 建てで原油収入を受け取っており、中央銀行が USDT を保有することは容易だという。

「EU 企業に制裁ライセンスなしでの取引を要請」

9月1日 マドゥロ大統領は、欧州のエネルギー企業に対して、

「ベネズエラで事業を行うために米国の制裁ライセンスは必要ない」「欧州は、いつまでワシントンの命令に服従しているつもりだ」「ここではあなた方は自由だ」

「ライセンスの有無など関係なく、ベネズエラで事業を行おう」とコメント。

また、ベネズエラで石油事業を行いたいと考えている米国の企業に対しても「ベネズエラの法律と憲法を順守する限り、常に歓迎する」とコメントした。

「SENIAT 1～8月の徴税額は40億ドル超」

「徴税庁 (SENIAT)」のホセ・デビッド・カベジョ長官は、2025年1～8月の徴税額が6027.5億ボリバル（約40.6億ドル）に達したと発表した。この金額は過去最高額になるという。

カベジョ長官によると、8月の徴税額は1152億ボリバル（約7.7億ドル）だったという。

1152億ボリバル（約7.7億ドル）のうち、約37.5%は「付加価値税 (IVA)」
約31.2%は「関税」
約20.6%は「法人税」
約10.6%は「その他国内税」
だったという。

社 会

「グアイド元暫定大統領 US Open 観戦で炎上」

2019年～22年までベネズエラで暫定大統領を務めていたファン・グアイド氏が、米国ニューヨークで開催されたテニス大会 US Open を観戦している姿がテレビに写り込んだことで炎上している（下写真）。

グアイド元暫定大統領は、2023年に米国に亡命している。

2019年当時は英雄視されたグアイド暫定大統領だが、その後の数年間で政権交代を達成することはできず、現在は汚職で蓄財し、経済低迷を起こした責任者の一人と認識されている。

US Open の観戦チケットは高額である。

ソーシャルメディアでは、「富裕層からチケットを無料でもらった」「ベネズエラ国民が苦しむ一方で、彼は米国で贅沢な生活をしている」など批判の声が出ている。



(写真) Al Navio

2025年9月2日（火曜）

政治
**「米軍 ベネズエラ発の麻薬輸送船を爆撃
～麻薬密輸船の爆破動画を公開～」**

9月2日 トランプ大統領は、ベネズエラから出発した麻薬密輸船を爆撃したと発表した。

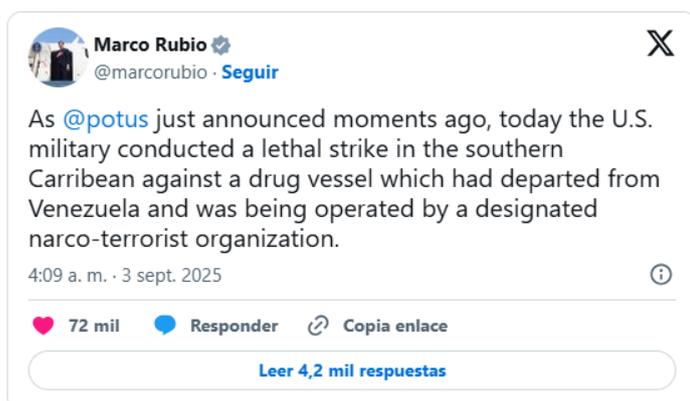
「言葉通り、我々はたくさんの麻薬を積んだ船舶を破壊した」「長い間、我が国にはベネズエラから大量の麻薬が流入している」「多くの麻薬がベネズエラから流入している」「だから排除した」と説明した。

また、トランプ大統領は、攻撃した船舶について、犯罪組織「Tren de Aragua (TDA)」の船舶であると説明。攻撃の結果、船舶に乗っていた11人が死亡したと述べた。

なお、米国軍の死者・負傷者はいなかったという。

トランプ大統領の発表後、マルコ・ルビオ国務長官も自身のソーシャルメディア・アカウントにてトランプ大統領の発表について言及。

「少し前にトランプ大統領が説明した通り、本日、米国軍はカリブ海南部にてベネズエラから出発した麻薬テロ組織の船舶に致命的な攻撃を行った」と投稿した。



また、トランプ大統領は、船舶が爆破した瞬間を映した動画（30秒弱の短い動画）を公開した（下写真）。

トランプ大統領は、

「本日（9月2日）早朝、米国軍は SOUTHCOM（米国南部軍）の責任区域において、Tren de Aragua のテロリストに対する物理的攻撃を行った」

「TDA は、国際テロ組織に指定されており、ニコラス・マドゥロのコントロール下で活動をしている」

「米国および南半球における大量虐殺、麻薬密輸、人身売買、暴力と恐怖の責任者である」

「テロリストが違法な麻薬を米国へ密輸する途中の公開上で攻撃を行った」

と説明した。



Earlier this morning, on my Orders, U.S. Military Forces conducted a kinetic strike against positively identified Tren de Aragua Narcoterrorists in the SOUTHCOM area of responsibility. TDA is a designated Foreign Terrorist Organization, operating under the control of Nicolas Maduro, responsible for mass murder, drug trafficking, sex trafficking, and acts of violence and terror across the United States and Western Hemisphere. The strike occurred while the terrorists were at sea in International waters transporting illegal narcotics, heading to the United States. The strike resulted in 11 terrorists killed in action. No U.S. Forces were harmed in this strike. Please let this serve as notice to anybody even thinking about bringing drugs into the United States of America. BEWARE! Thank you for your attention to this matter!!!!!!!!!!!!



（写真）トランプ大統領 Truth Social

「マドゥロ政権 公開動画はAIによる偽物 ～トランプ大統領は国務長官に騙されている～」

今回の件について、現時点でマドゥロ政権側の反応はあまり報じられていない。

ただし、フレディ・ニュネス情報通信相は、トランプ大統領が公開した船舶の爆破映像について「AIの可能性が高い」との見解を示した。

ニュネス情報通信相は、自身のソーシャルメディア・アカウントにて

「依然としてマルコ・ルビオは、(トランプ)大統領に嘘をついているようだ」「彼は行き詰り、AIで作成した動画を「証拠」として提出した」「この種のフェイクニュースによるプロパガンダは一般的なものになっている」と発表した。

ニュネス情報通信相は、この動画がAIである理由として

「船舶の爆破は現実味にかけており、現実よりもアニメーションに近い」

「水の動きにAIで見られるような典型的な流れがあり、不自然な質感になっている」

「出所が明らかにされておらず、デジタル操作の可能性が高い」と指摘している。

最後に「マルコ・ルビオよ、戦争を煽り、トランプ大統領の手を血に染めようとするのは止めろ」と主張。

一連の政治的対立を煽っている張本人は、トランプ大統領ではなく、マルコ・ルビオ国務長官であるとの認識を改めて示した。

「ドミ共 太陽カルテルを国際テロ組織に指定」

9月2日 ドミニカ共和国は「太陽カルテル」を国際テロ組織に指定することを決定した。

ドミニカ共和国政府は、本件について声明文を発表。

太陽カルテルの国際テロ組織の指定について、

「国家の利益、国内および地域の平和、安全を脅かす国際的な犯罪活動と戦うことを目的としている」と説明した。

既に米国、エクアドル、アルゼンチン、パラグアイが太陽カルテルを国際テロ組織に指定しており、ドミニカ共和国が5カ国目になる。

太陽カルテルの国際テロ組織指定は、「トランプ政権の同盟国か、マドゥロ政権の同盟国か」を見定める踏み絵のような存在になっている。

「ガイアナ大統領選 Irfaan Ali 大統領が再選か」

前号「[ベネズエラ・トゥデイ No.1263](#)」で紹介した通り、9月1日にガイアナで大統領選が実施された。

筆者が同レポートを執筆している時点で、正式な結果は発表されていない。

しかし、同国の Bharrat Jagdeo 副大統領は、「Irfaan Ali 大統領が他候補に大差を付けて勝利した」との見解を示した。

現地の報道によると、選挙当局は9月4日に選挙結果を発表する予定だという。

経済

「JAC Motors 中国からの直接輸入オプション」

「JAC Motors Venezuela」は、ベネズエラ国内で自動車の組み立て（セミ・ノックダウン生産）・販売を行っている。

ただし、中国本土から直接輸入することで新車の購入価格を下げることができるようだ。

JAC Motors Venezuela の Manuel González 副社長は、現在のベネズエラの経済情勢を鑑みて、中国からの直接輸入を提案すると言及。

「5～6回の分割払いを行い、約6カ月後にベネズエラに自動車が到着するまで待つ、という購入オプションがある」

「この方法により、車両の購入価格が下がる」

「ベネズエラ人にとって魅力的な選択肢になっている」と説明した。

「外国資本 Araya 塩田に3000万ドル投資」

「国際投資生産センター（CIIP）」は、国際投資家（具体的な企業名は不明）からスクレ州 Araya 塩田の開発のための投資を受け入れると発表した。

CIIP によると、国際投資家から受け入れる投資額は、3000万ドル超だという。

CIIP は「今回の投資は、外国投資家がベネズエラの潜在性を信頼している証拠であり、ベネズエラの戦略分野を活性化させることができる」

「今回の投資により、地域社会および国家に持続的な利益をもたらすことになる」と説明した。

「ラグアイラ州 小麦粉工場の投資を計画」

ラグアイラ州の José Alejandro Terán 知事は、同州 Puerto Viejo 地区の経済特区にラテンアメリカで最大規模の小麦粉の生産工場を建設する計画があると発表した。

Terán 知事によると、同工場の生産能力は月4.8万トン。日量1600トンが生産できる工場だという。

直接雇用は初期段階では150人、最終的には400人の雇用を創出することになると説明した。

また、Johann Álvarez 経済特区長は、「同工場で生産される小麦粉はベネズエラ国内に供給されるだけでなく、中央アメリカ、カリブ海にも輸出されることになる」と説明した。



(写真) Ultimas Noticias

“Terán 知事 小麦粉生産工場の建設計画を発表”

以上